

江戸時代の貨貨幣展

土蔵から見つかった

〈特別出陳展示〉



平成26年 1月27日(月)~12月28日(日) 会期中無休

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)

入館料 大人600円、小中学生300円(団体20名様以上2割引)

主催 公益財団法人長浜曳山文化協会 ※長浜市・米原市の小中学生は無料

※展示の内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

特別出陳展示

土蔵から見つかった江戸時代の貨幣展

長浜の旧家の土蔵から発見された小判、カラクリ筆筒、旧家に伝わる銀製品などを展示

黄金のまち、長浜

長浜は、羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)が初めて一国一城の主となり、城下町を造成したまちで、近世城下町のルーツといわれています。また、長浜曳山祭は秀吉が男子誕生の祝いに町人へ砂金を振る舞い、これをもとに曳山を造営したのがはじまりといわれています。今回、長浜の旧家から小判その他の貨幣資料が新発見されたことも黄金と由緒の深い長浜ならではの出来事といえるでしょう。またこれらの富裕な大商人たちが長浜の豪華絢爛な曳山祭を支えてきたのです。

発見の過程

平成25年10月22日(火)、改修をおこなっている土蔵(湖北観光センター土蔵改修工事 平成25年9月5日着工)二階隅の大きく頑丈な筆筒一棹を長浜市職員が4人がかりで移動しようと傾けた際、筆筒の中で何かが動く音がしました。中には何も入っていないはずなのに物音がするとは変だと思った職員は、筆筒の床板が外れていることに気がつきました。手探りで探してみると上部には隠れたつまみがみえます。このつまみを引き上げたところ、下部の仕切り板が上昇、筆筒の最下部にもう一つの空間があることを確認しました。その中に小さな二つの桐箱があったのです。箱の中には山吹色に光る小判が顔を出していました。



カラクリ筆筒



発見された小判



桐箱と中に入っていた貨幣



安政丁銀



大黒豆板銀

展示の予定

- 3月24日(月)～6月1日(日) 企画展[江戸時代の貨幣展+貨幣を計る]
- 6月2日(月)～8月31日(日) 企画展[江戸時代の貨幣展+おもちゃの貨幣]
- 9月1日(月)～12月28日(日) 企画展[江戸時代の貨幣展+描かれた貨幣]

そのほかの期間は[江戸時代の貨幣展+豪商の暮らし]になります。

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

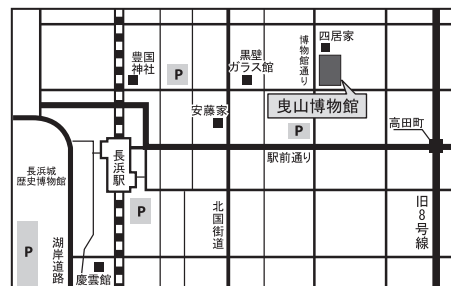
[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

| 入館料 | | | |
|----------------|------|------|--------------------|
| | 大人 | 小中学生 | 障がい者 |
| 個人 | 600円 | 300円 | 無料 |
| 団体 (20名様以上) | 480円 | 240円 | 障がい者手帳の提示で本人と介護者1名 |

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩6分 ●長浜ICより車で10分